

## 令和6年度 荒見天神社 祭礼

かんがくさい  
〈**勧学祭**〉 3/31 15:00

これから入園・入学されるお子様の学力向上・通学の安全・心身ともに健全に学校生活を過ごすことができるようお祈りする祭典です。

じんむさい  
〈**神武祭**〉 3/31 16:00

初代天皇である神武天皇の崩御日に相当する4月3日に毎年行なわれ、神武天皇の天皇霊を祭る。崩御日は『日本書紀』によれば紀元前586年（神武天皇76年）3月11日であるが、これをグレゴリオ暦に換算して4月3日としている。宮中の皇霊殿と神武天皇陵に治定される奈良県橿原市の畝傍山東北陵で儀式が行われる。



れいたいさい  
〈**例大祭**〉 5/4 16:00

社殿を飾り、山の幸、海の幸をお供えして、真心とともに神様おもてなしし、氏子崇敬者の繁栄、幸せを祈ります。神輿渡御（みこしとぎょ）、山車巡行（だしじゅんこう）が行われる地域もあります。

たうえさい  
〈**田植え祭**〉 5/12 16:00

主に全国各地の神社やお寺で、田植えの前に豊作を祈願する伝統的な田植えの儀式です。『御田植祭（おたうえさい）』という言い方もあります。

<sup>そうもくさい</sup>  
〈草木祭〉 10/20 16:00

五穀豊穰を神と草木に感謝を捧げる祭礼



<sup>いいなめさい おひたきさい</sup>  
〈新嘗祭〉(お火焚き祭) 12/7 15:00

11月23日に、天皇が五穀の新穀を天神地祇(てんじんちぎ)に供え、  
また、自らもこれを食べ、その年の収穫に感謝する(収穫祭)ととも  
に、神の御霊を身に体して生命を養う[1]。

<sup>さぎちよう</sup>  
〈左義長〉 1/13 6:00

1月14日の夜または1月15日の朝に、刈り取り跡の残る田などに長  
い竹を3、4本組んで立て、そこにその年飾った門松かどまつや注連飾りしめかざ、  
書き初めかきぞめで書いた物を持ち寄って焼く。また、注連飾りなどの灰を  
持ち帰り自宅の周囲にまくとその年の病を除くと言われている。ま  
た、書き初めを焼いた時に炎が高く上がると字が上達すると言われ  
ている。道祖神の祭りと言われる地域が多い。民俗学的な見地からは、  
門松や注連飾りによって出迎えた歳神を、それらを焼くことによっ  
て炎と共に見送る意味があるとされる。

令和6年度天神社役員

総代 寺田慎二・山内明男・里内美喜蔵

宮役 岩間秋夫・加藤芳啓・北川 潔・木村健一・竹内祐樹